Ⅶ．固定資産の減損関係

１．減損の兆候が認められた固定資産

用途	研究所	管理棟分館
種類	建物	建物
場所	東京都中央区築地５－１－１	東京都中央区築地５－１－１
期末帳簿価額 （うち特定の償却資産（独立行政法人会計基準第87）の額）	387,331,553円 (324,552,800円)	86,984,987円 (10,347,656円)
使用をしなくなる日	未定	未定
使用しないという決定を行った経緯及び理由	総合棟の竣工時にその機能を移転し、用途を変更するということの決定を行いました。	総合棟の竣工後に取り壊す決定を行いました。
使用しなくなる日の帳簿価額	※１	※１
使用しなくなる日の回収可能サービス価額	※１	※１
減損額の見込額	※１	※１

㈱※１　将来の使用しなくなる日が未定のため、不明です。

Ⅷ．資産除去債務関係

１．資産除去債務の概要

当センターは、所有する建物の解体時におけるアスベストの除去費用並びに、所有する医療用器械備品等の処分時における放射性同位元素及び放射化物の除去費用につき資産除去債務を計上しております。

２．資産除去債務の金額の算定方法

資産除去債務の見積りにあたり、取得時からの使用見込期間を有形固定資産の耐用年数を参考に１年10ヶ月～39年と見積っております。割引率は当該期間を勘案し、使用見込期間に見合う国債の利回りを採用しており、0.055％～2.283％となっております。

３．当事業年度における資産除去債務の総額の増減

期首残高	2,128,895,387円
有形固定資産の取得等に伴う増加額	1,070,530円
時の経過による調整額	17,256,042円
資産の除去による履行額	△　1,523,880円
期末残高	2,145,698,079円

Ⅸ．重要な債務負担行為

翌事業年度以降に支払いを予定している重要な債務負担行為は、以下の通りです。

（単位：円）

契　約　内　容	契約金額	翌年度以降の支払金額
新総合棟建築・解体等工事	14,102,854,800	10,192,129,800
特殊建物・設備総合維持管理業務（築地地区）	1,101,600,000	1,101,600,000
特殊建物・設備総合維持管理業務（柏地区）	809,740,800	809,740,800
ＰＥＴ－ＭＲＩ装置	600,372,000	600,372,000
手術・中材・内視鏡室及び消毒等業務委託一式	559,742,400	559,742,400
医局棟等病院改修整備工事	402,840,000	402,840,000
医事・病歴、検診事務等業務委託	1,584,366,797	248,763,312
患者の食事提供業務委託	552,358,800	184,550,400
新総合棟建築・解体等工事に係る基本設計・実施設計・工事監理業務	147,000,000	147,000,000
がん集学的治療多施設共同臨床試験支援業務	139,999,752	139,999,752
輸液ポンプ430台賃貸借	138,484,080	111,556,620

Ⅹ．重要な後発事象

該当事項はありません。

国立研究開発法人国立循環器病研究センター平成26事業年度財務諸表に関する公告

独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第38条第３項に基づき、国立研究開発法人国立循環器病研究センター（旧法人名：独立行政法人国立循環器病研究センター）平成26事業年度財務諸表について次のとおり公告します。

なお、主要な財務諸表のみを記載しておりますので、詳細をご覧になりたい方は、当センターのホームページ（http://www.ncvc.go.jp/）又は事務所にて閲覧ください。

㈱　貸借対照表等の計数は百万円未満を四捨五入しているので、合計と端数において合致しないものがあります。

平成27年9月28日

大阪府吹田市藤白台５丁目７番１号
国立研究開発法人国立循環器病研究センター
理事長　橋本　信夫

貸　借　対　照　表

（平成27年３月31日）　（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
Ⅰ　流動資産		Ⅰ　流動負債	
現金及び預金	10,537	預り補助金	5
医業未収金	4,002	預り寄附金	95
貸倒引当金	△　5	一年以内返済長期借入金	270
未収金	856	買掛金	1,583
医薬品	111	未払金	2,363
診療材料	7	一年以内支払リース債務	40
給食用材料	1	未払消費税等	19
貯蔵品	15	前受金	180